

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 12 日

事業名称		街路樹等管理事業費 [街路樹等管理事業]										
予算科目	款 8	土木費	項 2	道路橋りょう費	目 1	道路維持費	事業番号	5				
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	土木課		課		管理		係	課長名	寺島 由紀夫			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 5			
【施策名】 緑の保全・創出								総合計画書 (ページ)	91			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	・街路樹(高木及び低木) ・市道等の沿線住民及び通行者 →				・街路樹高木本数 ・街路樹低木面積							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	・剪定等により管理を行い、通行上の安全を図るとともに、街路樹が整備された状態を維持する。 ・沿線住民及び通行者の憩いとなるような街路樹となるようにする。 →				・街路樹の剪定本数・面積 ・植樹帯等の除草							
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	①街路樹等管理委託 ②街路樹強剪定委託(市道第3号線)				①(1)高木剪定本数：3,145本 (2)低木剪定面積：20,270㎡ (3)低木剪定回数：1～2回(路線による) (4)植樹帯等除草回数：2～3回(路線による) → ②市道第3号線ケヤキ強剪定本数：24本							
	①本 ①(1)3,223 ②㎡ (2)20,058 ③④回 (3)1～2 (4)2～3				①(1)3,182 (2)20,270 (3)1～2 (4)2～3 ②9							
	①(1)3,145 (2)20,270 (3)1～2 (4)2～3 ②24											
3 経費	事業費(実績)		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標				
	対象指標	①の数値	本 ㎡	3,223 20,058	3,182 20,270	3,145 20,270						
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0						
	目 標	②の目標値	%	100.0	100.0	100.0						
		目標値設定の考え方										
	剪定対象としている街路樹や植樹ます等の全てをもれなく管理する。											
	活動指標	③の数値	①本 ②㎡ ③④回	①(1)3,223 (2)20,058 (3)1～2 (4)2～3	①(1)3,182 (2)20,270 (3)1～2 (4)2～3 ②9	①(1)3,145 (2)20,270 (3)1～2 (4)2～3 ②24						
	財源	一般財源		円	38,127,130	38,562,310	40,111,500	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
		特定財源(国・都・他)		円								
(うち受益者負担)		円										
所要人数(再任用以外)		人	0.3	0.3	0.3							
所要人数(再任用)		人										
職員人件費(再任用以外)		円	2,473,200	2,493,000	2,514,000							
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	40,600,330	41,055,310	42,625,500							
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度									
	(2) 環境の変化 植樹から年月が経過したことにより街路樹が、高木化、老木化してきており、維持管理が年々大変になってきている。実際に台風等の災害時に街路樹の倒木が発生しており、樹木医による診断が必要な段階になっている。											

事業名称	街路樹等管理事業費 [街路樹等管理事業]			
担当部署・課長名	土木課	課	管理係	課長名 寺島 由紀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・街路樹（高木）の繁茂状況や落葉の問題を考慮し、落葉時期前の実施など剪定時期を工夫してほしい。 ・自宅前の街路樹の幹には空洞化しているように見えるものがあり、台風や強風による倒木が心配である。 ・毎年委託にて除草を行っている箇所以外の植樹帯や植樹ますにも雑草がよく生えているので市で対応してほしい。 ・落葉のシーズンは月1回の道路清掃では対応できず、市職員等による清掃を高頻度で行っている。 落葉については街路樹に限らず、公園や緑地等からの落葉にも気を配ってほしい。 街路樹は市民にとって日常目にするが多く、歩道上の雑草などは通行の支障にもなるため毎年多くの要望をいただいている状況である。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：アダプト制度の試行運用により、落葉清掃等のボランティア活動を実施いただいている。 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 より多くの団体に参加いただけるよう、引き続き公募活動を行う必要がある。			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） ・全ての主要路線での現況調査が完了しているわけではないので、引き続き計画的に調査を行う必要がある。 ・緊急に対応できる予算には限りがあるため、災害の多い時期など緊急対応が必要となる時期を考慮し適切な予算執行を行っていく必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 ・現況調査を行う路線本数を増やした。 ・委託管理業者の協力のもと、枯損の恐れがある樹木にマーキングをしてもらい、そのうえで優先順位を決定した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 現在枯損の恐れがある樹木についてマーキング、リスト化を推進し適切な管理に努める。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 緑の保全・創出 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 街路樹の老木化・大木化は今後も進行していくので、その前提のもとで優先順位に従った管理を進めた。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 街路樹管理委託において、剪定の時期や剪定方法・除草における作業方法を精査することで、無駄のない管理に努める。 他市の剪定状況等も研究し東大和市において最適な管理方法を検討する。			